

第3期 決算公告

東京都千代田区内神田一丁目 15 番 10 号
株式会社ネクストフィナンシャルサービス

貸借対照表 (平成 22 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	324,184	流動負債	759,585
現金及び預金	78,101	未払金	38,384
売掛金	128	未払費用	11,270
貯蔵品	125	未払法人税等	25,697
未収入金	39,278	未払消費税	450
立替金	278,777	前受金	506,070
繰延税金資産	54,603	預り金	17,078
その他	8,723	賞与引当金	19,607
貸倒引当金	△135,554	保証履行引当金	141,024
固定資産	78,354		
有形固定資産	3,171		
建物	3,682		
減価償却累計額	△3,482	負債合計	759,585
工具器具備品	5,327	(純資産の部)	
減価償却累計額	△1,342	株主資本	△357,046
減損損失累計額	△1,013	資本金	250,000
無形固定資産	52,969	資本剰余金	250,000
ソフトウェア	52,969	資本準備金	250,000
投資その他の資産	22,214	利益剰余金	△857,046
敷金保証金	19,131	繰越利益剰余金	△857,046
長期前払費用	3,083		
固定化立替債権	103,391	純資産合計	△357,046
貸倒引当金	△103,391		
資産合計	402,538	負債及び純資産合計	402,538

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 当期純損失 89,012千円

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準および評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

貯蔵品…最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …………… 定率法を採用しております。ただし、建物については定額法を採用しております（建物附属設備を除く）。

なお、主な耐用年数については次の通りであります。

建物…2～15年

工具器具備品…5～6年

無形固定資産 …………… 定額法によっております。

ソフトウェア…5年

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっております。控除対象外消費税等は、当事業年度の費用として処理しております。なお固定資産に係る控除対象外消費税等は長期前払費用に計上し、5年間で均等償却しております。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金……………債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金……………従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、将来の支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

保証履行引当金……………貸貸保証事業に係る損失に備えるため、過去の実績保証履行損失率を勘案し、損失負担見込額を計上しております。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年4月1日より前に開始する事業年度に属するものについては、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。